

2022年度事業計画(案) (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

はじめに、2022年度の事業計画は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染状況と国や行政の対応により、不確定要素が多いため、基本的な方針を提案し、具体的には理事会決定により執行していきます。

日本では年間570トンものまだ食べられる食品が廃棄されています。一方で、コロナ禍や異常な物価高が続くなか、収入の少ない子育て世帯や生活困窮者への食の支援が必要とされています。今年度も「もったいない」を「いただきます」をスローガンに、地域でフードバンク活動を「食の支え合い」として広げていく取組みを進めていきます。

1、フードバンク事業

- 狛江市の生活困窮者自立相談支援に、食料提供を継続できる食品の確保に努めます。
- 子育て家庭への食料支援の拡充のために、必要な食品の確保を図ります。
- 非営利で活動する地域の福祉施設・団体に、少しでもその活動の支えとなるよう、ロス食品や未利用食品を活かして食品提供に努めます。またフードバンク活動への理解を広げる活動として進めていきます。
- 市内4カ所の食品寄贈ケース設置場所や、西野川事務所及び市庁舎作業所での食品寄贈を増やすために、広報等により食品寄贈を呼びかけます。また、コロナ収束状況により、食品寄贈ケース設置場所の拡大も検討・実行していきます。
- イベントでのフードドライブは、以下開催された場合、感染対策して参加し食品寄贈を呼びかけます。
 - ・6月狛江市環境月間こまエコ祭り(中止)／
 - ・10月消費生活展くらしフェスタ／
 - ・11月狛江市民まつり
 - ・11月パルシス狛江センターまつり
- 生活協同組合4団体(東都生協、パルシステム東京、コープみらい、生活クラブ生協)との連携を強め、フードドライブが実施される場合の協力や、イベント参加による食品寄贈を呼びかけます。
- 地域の企業・団体にフードドライブやフードバンクの周知広報、協力を求めています。

2、食のセーフティーネット事業

- 福祉相談課、生活困窮者自立相談窓口こま YELL との連携を強め、引き続き感染対策を徹底して、コロナ禍や物価高騰で予想される食料支援の増加に対応します。
- こま YELL の行う学習支援や子ども政策課のひとり親家庭向け学習支援へのお菓子や飲料の提供は、子どもたちの励ましとなるよう、実施状況に応じて継続します。
- 学校給食のない時期の子育て世帯への食料支援は、子ども政策課と連携したひとり親子育て応援と、教育委員会-学校教育課と連携して就学援助受給世帯にも食品提供を実施します。
- 電話や SNS などに入ったSOSには、他都市の場合、当該地域の支援団体を紹介するとともに、必要と認められる場合、一回のみを基本にして緊急食料支援対応をします。
- スクールソーシャルワーカーやコミュニティーソーシャルワーカーをはじめ、地域の支援団体との連携関係を強めていきます。

3、フードバンクの普及・啓発事業

- 多人数で集まる交流会や勉強会などは、コロナ感染状況も見極めながら、オンラインでの実施等も視野に、年度後半の時期に実施を検討します。
 - ・フードバンクとつながる地域の団体交流会
 - ・食品ロスの現状を知る目的で、日本フードエコロジーセンター見学を可能な時期に実施
 - ・子育て応援食料支援でつながった、親子や親同士の交流を目的のイベント
 - ・近隣フードバンクとの交流会
- ニュースレターは例年通り年4回発行し、5周年誌なども広報活動で活かし、SNSの活用を積極的に行う。
 - ・フェイスブック・ホームページの活用
 - ・紙媒体によるニュースレター、チラシの作成・配布
 - ・新聞、テレビ、ラジオ、タウン情報誌による広報

4、団体の持続可能性を追求した組織運営と基盤の確立について

- 事業規模の拡大を維持し、持続可能な団体運営のため、役員報酬や有償スタッフを配置できるよう財政基盤の確立に努めます。また必要な助成金を獲得していきます。
- コロナ感染状況を見極めながら、団体として会員の活動参加を促し、積極的に会員・賛助会員（個人・団体）の拡大を図ります。また、地域の企業・商店への訪問活動による賛助と寄付の呼びかけを行います。
- フードバンクを地域の仕組みとして確立するために、関係団体による協議会設置を目指します。
- コロナ感染状況を踏まえて、西野川事務所/倉庫と市庁舎作業所を理事・事務局スタッフが中心的に担いつつ、ボランティアの計画的な参加体制をつくり活動します。
- 理事会・事務局・ボランティアの役割分担をして、団体員相互の協力で効果的な組織運営に努めます。
- 組織運営に関わる諸規定を整備し、組織基盤の確立を図ります。
- 組織運営の課題解決に、理事・事務局スタッフによる検討チームで検討を進めていきます。